



2024年9月28日

国際協力機構（JICA）ベトナム事務所

## 「The First 1,000 days」におけるベトナム乳幼児向け離乳食実践の改善に関する日越合同シンポジウム」を開催

### 「ベトナム版離乳実践ガイド」作成開始へ

JICAは開発途上国が抱える社会・経済上の課題解決に貢献する目的で、中小企業・SDGsビジネス支援事業として、アサヒグループ食品株式会社（本社 東京、社長 川原浩）から提案のあった「ベトナム国 The First 1,000 days の母子保健改善ビジネス化実証事業」を2022年度に採択し実施しています。同事業の一環として、2024年9月28日にベトナム国立栄養研究所と協力して「The First 1,000 days におけるベトナム乳幼児向け離乳食実践の改善に関する日越合同シンポジウム」をハノイで開催しました。

このシンポジウムには、ベトナム側は、ベトナム保健省、ベトナム小児科学会、ベトナム栄養学会、ベトナム国立栄養研究所などから小児・産婦人科の専門家に加え、ベビーフード小売関係者、日本側は、在ベトナム日本国大使館、JICA、イオンベトナム、アサヒグループ食品などの関係者が、総計約120名参加しました。

シンポジウムでは、ベトナム保健省から今後「ベトナム版離乳実践ガイド」を作成し、ベトナムと日本の産官学が連携して普及を進める計画を正式に発表しました。

また、ベトナム最大の民間ワクチンセンターであるベトナムワクチン JSC（VNVC）と Nutrihome 栄養センター、イオンベトナムが協力して、ベトナムでの離乳食の実態、日本の離乳食の進め方やベビーフードの受容性に関する実証調査の結果が発表されました。

また本調査結果を踏まえ、アサヒグループ食品は、ガイド作成において、ベトナム国立栄養研究所と契約を締結し、適切な離乳食の啓発とベビーフードの販売においてVNVC、Nutrihomeと協力することを合意し、署名式を行いました。

参加者からは、「何をどれだけ食べさせるかという理論だけでなく、子どもの摂食機能の発達に応じてどのように食べさせるかという実践方法の啓発が必要。このような実践的なガイドの開発は、ベトナムの養育者の離乳食の悩みを解決し、子どもたちの健やかな成長に繋がる。」といった期待が寄せられました。

このシンポジウムを皮切りに、アサヒグループ食品は2024年4月からテスト販売していたベビーフードの販売を上げ、10月から正式に輸出販売を開始します。

適切な食事や栄養摂取、日本の授乳・離乳の支援ガイドなどの知見が両国で共有され、また、分かりやすい方法で保健医療施設や各家庭に普及することで、妊産婦の健康改善や適切な離乳食の摂取が進み、ベトナムの乳幼児の健全な成長の促進に貢献することが期待されます。



JICAは引き続き、母子保健や栄養分野に関する産官学連携の取り組みを支援していきます。

---

お問い合わせ： JICA ベトナム事務所 広報班 関 里緒菜

Tel: (+84-24) 3831 005 (内線 125) E-mail: Seki-Riona@jica.go.jp